

令和6年度

第1回 対馬市 SDGs 推進本部

日時:令和6年7月19日(金) 16:00～

場所:対馬市役所4階応接室(厳原会場)

議 事 次 第

1. 開会

2. SDGs 推進本部長挨拶

3. 議事

(1)SDGs 推進に向けた取組について

- ・ 対馬市の SDGs 推進の取組 ～脱炭素社会への挑戦～

(2)その他

- ・ 対馬 SDGs パートナース制度への登録について

4. 閉会

SDGs 推進本部 構成員

本部長	比田勝尚喜	市長
副本部長	俵 輝孝	副市長
副本部長	一宮 努	副市長
副本部長	中島 清志	教育長
本部員	木寺 裕也	総務部長
本部員	三原 立也	しまづくり推進部長
本部員	阿比留忠明	観光交流商工部長
本部員	村井 英哉	市民生活部長
本部員	田中 光幸	福祉部長
本部員	桐谷 和孝	保健部長
本部員	平川 純也	農林水産部長
本部員	内山 歩	建設部長
本部員	勝見 一成	会計管理者
本部員	舎利倉政司	水道局長
本部員	原田 武茂	中対馬振興部長
本部員	原田 勝彦	上対馬振興部長
本部員	井 浩	消防長
本部員	扇 博祝	教育部長
本部員	平間 博文	議会事務局長
庶務	財部 仁	SDGs推進課長

対馬市のSDGs推進の取組 ～脱炭素社会への挑戦～

1. 脱炭素社会とは

- 脱炭素とは、地球温暖化の原因となる代表的な温室効果ガスである二酸化炭素の排出量をゼロにしようという取組

二酸化炭素排出が実質ゼロになった社会のことを「脱炭素社会」

2. 二酸化炭素が地球環境や対馬に与える悪影響

- 二酸化炭素が増え続けると地球温暖化が加速し気温が上昇することで、地球の気候変動を引き起こし、異常気象や災害等のリスクが高まる。

【気候変動による影響】 干ばつによる空気の乾燥、気温上昇による熱波、気温上昇により空気中の水蒸気が増えて起こるゲリラ豪雨、異常気象の発生 等

【気候変動によるリスク】 乾燥による深刻な森林火災、地域の気候特性の変化、海水面の上昇、生態系の崩壊、米・アスパラガス・ミカン等の農産物の高温障害、しいたけ原木の害菌やサツマイモの基腐病の拡大、熱中症のリスク増加

対馬市のSDGs推進の取組 ～脱炭素社会への挑戦～

食糧生産・水資源の枯渇・健康被害・経済格差 等

私たちの暮らしに直結する問題が発生する恐れがある！！

3. 二酸化炭素が増えている原因

- 産業の発展 → 産業革命以降、石油・石炭・天然ガス等の化石燃料を使用
- 豊かな人間生活 → 生活で使用するガソリン・灯油、電気を生み出す発電所
- 森林面積の減少 → 燃料用木材の過剰な採取、森林火災、違法伐採 等

産業のみならず人間生活でも化石燃料が大量に使われている

化石燃料を掘り出して燃やすことで二酸化炭素を大量に排出

対馬市のSDGs推進の取組 ～脱炭素社会への挑戦～

4. 二酸化炭素を減らす取組

- 地球温暖化は、主に人間活動によって放出された二酸化炭素を中心とする温室効果ガスの大気中濃度の増加が原因
- パリ協定に掲げられた温室効果ガスを削減する世界の共通目標
 - パリ協定：気候変動枠組条約に加盟する196カ国全ての国が削減目標・行動をもって参加することをルール化した公平な合意
 - ・世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5°Cに抑える努力
 - ・世界の温室効果ガス排出量を抑え、温室効果ガス排出量と吸収量のバランス
 - ・途上国を含む全ての参加国に二酸化炭素など温室効果ガスの排出削減努力



世界規模で削減の取組みが加速

対馬市のSDGs推進の取組 ～脱炭素社会への挑戦～

5. 対馬市の脱炭素化に向けた取組

○ 省エネ家電購入費補助事業

省エネルギー性能の高い家電製品の購入を支援することにより、温室効果ガス排出量の削減を図る。

○ 生ごみ等資源再利用システム事業

環境に配慮した循環型社会形成の構築に向けて生ごみ等の分別収集を行い、ゴミの減量化と資源化を図り、ごみ処理費用の削減と温室効果ガス排出量の抑制を図る。

○ 森林環境譲与税活用事業

森林環境譲与税を財源とした適正な森林環境整備を推進。

○ 藻場再生の取組（ブルーカーボン）

ブルーカーボン生態系（海草・海藻・干潟・マングローブ林）には、二酸化炭素の吸収源としての機能以外にも水質浄化機能、水産資源の活性化、教育、レジャー等、多くの恩恵をもたらす。

新たな脱炭素化に向けた施策の検討と既存事業の推進

対馬市のSDGs推進の取組 ～脱炭素社会への挑戦～

6. 身近な取組

○ 地球温暖化を緩和するための取組みが進められているが、私たちの生活も見直せば温室効果ガスを削減することができる

- ① 食品ロスの削減、生ごみ分別の回収事業への参加
- ② 車での外出を公共交通や自転車に変える
- ③ 羽織ものを工夫して冷暖房の設定温度を調整する
- ④ 身体を洗っている時は、お湯を流しっぱなしにしない
- ⑤ シェアリングエコノミーの取組推進
- ⑥ 環境保護活動に参加し、地球環境について考える機会を設ける
- ⑦ 環境教育を行う
- ⑧ 省エネ家電や燃費の良い自動車に切り替える
- ⑨ 無駄な廃棄物を出さないペーパーレス化、デジタル化



出来るところから取り組む姿勢が求められる

対馬市のSDGs推進の取組 ～脱炭素社会への挑戦～

7. 脱炭素社会を目指す必要性

- 産業革命以降、爆発的に増えた二酸化炭素ですが、現在も産業の発展などに伴い増え続けており、気温の上昇に伴う水や食料不足などが人間社会に悪影響を及ぼす恐れがある。
- 地球温暖化の影響を鑑みて、世界各地で二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの削減に関する様々な取組が展開されているが、気温の上昇を少しでも緩和させるためには更なる取組みが必要

小さな取組の積み重ねが二酸化炭素を減らすために必要不可欠

対馬市のSDGs推進の取組 ～脱炭素社会への挑戦～

8. 取組を拡大し選ばれる自治体へ：

「2050年 世界最先端のサステナブル・アイランドへ」

- 市の職員からSDGs推進（脱炭素社会への取組）を意識して取り組む



市民を巻き込み対馬市全体の動きへ

（シビックプライドの高まりによる定住・Uターン意識の増加）



対馬島外へ波及

（Iターン移住・関係人口の増加：人口減少課題解決につなげる）

- 大阪・関西万博：令和7年4月13日～10月13日 開催
対馬デイ：6月20日～22日 3日間開催

**対馬が注目され対馬市の取組を周知できる
選ばれる自治体となる**

対馬市のSDGs推進の取組 ～脱炭素社会への挑戦～

9. 職員各々が主体的に取り組む

○ 職員が主体的に取り組むためには、モチベーションを継続し取り組むことが必要

○モチベーションを上げる取組

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ①労働条件の見直し | ④成功体験を積ませる |
| ②透明性の高い評価制度への改善 | ⑤現場の意見を尊重する |
| ③職員自身が考える機会を与える | ⑥職場内コミュニケーションの活性化 |

アンケート調査の実施（全職員提出）

対馬市のSDGs推進の取組 ～脱炭素社会への挑戦～

10. スケジュール



11. アンケート内容

1. 脱炭素推進への理解・影響
2. 脱炭素への個人の取組み
3. 職場での無駄・改めること
4. 予算を必要としない職場での取組み
5. 脱炭素社会に向けた体制・予算・情報
6. 脱炭素推進となる取組・アイデア



受付翌月 17日 (みんなでSDGsを考える日) 登録

対馬 SDGs パートナーズ 随時募集中



SDGs Future City
Tsushima Island

登録特典

- ①対馬市ホームページ等で企業・団体名等を公表
- ②パートナーズ間の交流・協働を促進
- ③対馬市オリジナル SDGs ピンバッジを配布
- ④対馬市 SDGs ロゴマークの使用
- ⑤「SDGs カフェ」でのプレゼンテーション優先権

登録対象

企業、個人事業主、特定非営利法人等の団体
学校、教育・研究機関、個人

- ・SDGsの達成に向けた取組又は対馬市 SDGs アクションプランに沿って活動することを宣言し、SDGs アクションプランに基づくプロジェクトに賛同する意思があること
- ・対馬市においてSDGsの達成に向けた取組を行っている、又は取組む意思があること
- ・SDGs アクションプランに沿った活動を行っている、又は取組む意思があること
- ・登録後、他のパートナーズと協働してSDGsの推進及び普及啓発に取り組む意思があること

申込方法



①対馬市 HP から
宣言書・申込書
をダウンロード

②対馬市 SDGs
アクションプラ
ンを確認

③今の取組や今後
やりたいこと等を
まとめる

④宣言書・申込書
を作成。メール又
は郵送で申請

SDGsは「つづかない現代社会」(持続不可能な社会)を「つづく未来社会」(持続可能な社会)へ変えて行こうとする世界共通目標です。普段の企業・団体・教育・市民活動にSDGsを取り入れ、対馬SDGsパートナーズとしてみんなで力を合わせ、未来に向けて安心・安全に暮らし続けられる対馬にしていきたいませんか? 登録のお申込み、お待ちしております。



SDGs カフェ

SDGsが17の目標で構成されることになり、毎月17日はみんなでSDGsを考える日として、対馬・交流型のイベントを開催しています。毎回1名の発表者が「自分がやりたいこと」を発表し、アイデアを出し合いながら参加者みんなで応援しています



お問合せ 対馬市しまづくり推進部 SDGs推進課 TEL: 0920-53-6111